

インボイス実施で

2023年
10月

免税事業者は廃業の危機

新たに消費税納税と実務負担が!?

消費税の仕入税額控除の要件として、税務署から付番された登録番号が記載されたインボイスがなければ控除が認められなくなります。フリーランスや個人事業主などの免税業者は、課税業者となって新たな消費税負担を強いられるか、インボイスを発行できずに取引から排除されるか、厳しい選択が迫られます。

インボイスいま申請すれば自動的に課税業者に

「21年10月1日から登録申請」はじまりました。しかし、ひとたび登録すれば自動的に課税業者となるので、申請には注意が必要です。

インボイスとは……

全ての事業者がインボイス対応を迫られます「適格請求書」のことです。

一人親方の塗装業 建設会社の専属下請け (年収1000万円以下)

建設会社から
インボイスを
出すように言われて
いるんだけど…



- 選択肢は三つ
- ① 課税事業者になって消費税を納める
- ② 免税事業者のままいる
親会社は、取引を中止するかもしれません
- ③ 消費税分を値引きして今まで
どおり仕事を続けさせてもらう

いずれにしても
インボイス方式は事業
の行方を左右する
危険な仕組み

取引関係にも影響

建設会社 (年商5億円) 課税事業者で下請け業者40人の
ほとんどが免税事業者

下請け業者から
インボイスを
もらわなかったら
どうなるんだ?



- 消費税の納税額が激増します
- ※40人が全て課税事業者で、
その支払いが4億円とすると
(5億円×10%=5000万円)
- (4億円×10%=4000万円)
=1000万円(納税額)
- ※40人からインボイスをもらわないと
(5億円×10%=5000万円)
-0円=5000万円
(納税額)

納税額は
5倍

居酒屋 (免税業者)

接待で利用するお客さんに
番号の付いた領収書を
求められた…



個人タクシー (免税業者)

簡易課税を選んでも
売り上げ300万円で
消費税負担は約15万円…

TAXI



文房具店 (免税業者)

会社員のお客さんに
インボイスを
求められた…



課税業者になれば、法人は決算終了後2カ月以内、個人は翌年3月31日までに消費税を申告して納税しなければなりません。
その負担に耐えられるかどうか…。

インボイス制度の実施中止を求める署名にご協力ください。